

実証・事業化WG提案募集シート TYPE1(官→民)

自治体名	京都府
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他() ※複数回答可
WG組成目的	<p>参画者が各々保有する知見・情報等を活用し、情報交換等による相互協力のもと、社会課題であるCOVID-19等の新たな感染症対策に資する研究開発・予測モデルの可能性検証等に係る取組を通じて、会員各々の知見向上や新事業創出、課題解決を目指す。(R4に引き続き組成)</p>
<p>解決したい課題 (WGで検討したいこと)</p>	<p>R4内閣官房実証事業において、下水サーベイランスの実施および予測モデルの構築を行った経験から、今後起こりうるDisease Xを見据え、実際にこれらのデータを行政の感染症対策における政策判断や府民への行動変容の呼びかけに活用するためには、下水データの特性と限界に関する理解の醸成が不可欠であり、行政職員や府民等、誰にとっても分かりやすい下水サーベイランスについての説明資料(「取扱説明書」)が必須であるとの課題認識を持っている。また、行政の感染症対策に沿うよう、どの感染フェーズでこういった技術が役立つかといった俯瞰的整理も必要である。そのほか、5類移行後の新型コロナウイルスやその他感染症について、流行予測が可能かどうかについて検討する。</p> <p>(具体活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都府域における下水サーベイランス「取扱説明書」の作成 2 国や府のインフルエンザ等対策行動計画の改定に向けた準備 3 パイロットモデルとなる予測活動 <p>【(株)Adinte、(株)AdvanSentinel、(株)アナテック・ヤナコ、(株)COGNANO、塩野義製薬(株)、(株)島津製作所、(株)島津テクニサーチ、京都大学附属流域圏総合環境質研究センター、高知大学、北海道大学、京都市】</p>
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年(5月:WG開始、6～10月:取説作成のための勉強会、6～3月:インフルエンザ等行動対策計画改定に向けた準備等、予測活動)